



# 学校教育報告会 令和4年度



## 横浜市立みなとみらい本町小学校

【日時会場】令和5年3月3日(金) 10:30～ 体育館にて

【配付資料】①今年度の学校教育活動

②学校評価（児童・保護者・職員アンケート結果）

③令和5年度 年間行事予定 ※別紙にて 3月3日版

※カラー版が、学校ホームページに掲載されています



**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

みなとみらい本町小学校は、  
持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいます。

# 学年紹介

## <学習室>

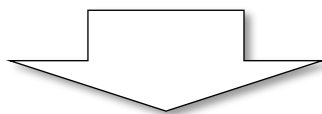
### 学級目標

# きらきらパンケーキ

～ 一人一人がかがやく やさしく なかよし がんばるクラス ～

### 【大切にしたいこと】

- ① 「なかよし」・・・温かい言葉で友達とかかわる
- ② 「べんきょう」・・・できることを増やす・あきらめずに取り組む
- ③ 「おかたづけ」・・・自分のことは自分でやる・身の回りの管理
- ④ 「おしごと」・・・みんなで協力して・自分からすすんでやる



### 【一年間を振り返って】

「きらきらパンケーキになろう」を合言葉に、「友達にやさしくできたかな?」「どうしたらなかよしになれるかな?」と考えながら、学級内の友達同士、仲良く遊ぶことができていました。言葉遣いもお互いに気をつけて、「今は、チクチク言葉だからやめよう」などと自分たちで意識もできていました。学級の仕事には積極的で、掃除など、上級生が1年生の面倒を見ながら全員が一生懸命に取り組んでいました。レモンの栽培に取り組み、観察記録を他学級に発表したり、レモンサイダーのラベルをデザインしたりしました。学習発表として、ダンスや和太鼓、楽器の演奏などを映像で校内や他校に発信することができました。子どもたちは、いろいろなことにチャレンジし、自信をつけることができた一年間になりました。





# だいじょうぶイ



### 【大切にしたいこと】

失敗したっていいじゃない！思い切りやってみよう！

① あいさつ ～みんな げんきだ！ だいじょうぶイ！

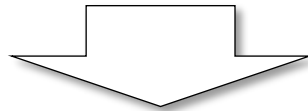
恥ずかしい気持ちに打ち勝って、まずは自分からあいさつをしてみよう！  
あかるい一日の始まりには、あいさつは欠かせません。

② 出会い ～いっぱい ともだち！ だいじょうぶイ！

小学校で新しい友達、上級生、先生たちたくさんの出会いがあります。たくさんの人と知り合って、たくさんの友達を作って、安心した生活を送れるようにしたいですね。何かあっても、みんなが助けてくれるから、大丈夫！！

③ 自分のことは自分で ～やったら、できたよ！ だいじょうぶイ！

自分でできることを増やして行ってほしいと思います。はじめのうちは、たくさんの人に手伝ってもらったり、助けてもらったりしても大丈夫！自分でできることから、スタートして、1年後には立派な小学生になれるように職員一同でサポートしていきます。



### 【一年間を振り返って】

5月にゆったりと友達づくりを重視したスタートをしたこともあり、クラスの友達だけでなく、たくさんの友達をつくることができました。

学校生活に慣れてきたころから、一日の見通しをもって生活し、不安な気持ちから安心した気持ちで一日を過ごしていました。すると、初めてのことや苦手なこともまずはやってみようと挑戦する気持ちが増えてきました。

あいさつについては、登下校や校門でのあいさつだけでなく、意識できているところもありますが、より意識して行えるようになるとういなおもっています。

幼保小の交流では、入学からの学校生活を振り返り、自分が伝えたいことを選んで伝えることができました。実際に、園児との交流ができ、自分たちがお兄さん、お姉さんになることの実感が湧いてきたように感じます。



## <2年生>

### 学年目標

# こううんの2年生クローバー

## 【大切にしたいこと】

### ① 何事にもチャレンジする気持ち

初めてのことや今まで苦手に思っていたことでも、挑戦してみようとする気持ちを大切にします。そうした勇気を励まし、失敗しても温かく迎える学年団を目指します。

### ② みんなで心を一つにスタートする

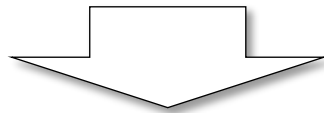
みんなで一緒に始める。授業の始まりなどのあいさつを始め、気持ちの良いスタートを切れるように、準備をしていきます。

### ③ 一生懸命に取り組む

遊ぶ時も、学ぶ時も一生懸命にする。メリハリのある時間の過ごし方をし、けじめを付けた態度で過ごす姿を目指していきます。一生懸命に取り組むことで粘り強さや集中力、そして仲間を思いやる気持ちを育みたいのです。

### ④ 自分のよさを輝かせる

自分のよさを感じられるように、互いのよさを認められるように、毎日の振り返りなどでよさを共有していきます。そうすることで、自分に気付かなかったよさを感じ、友達のよさを知ることになります。



## 【一年間を振り返って】

2年生になった当初には、些細なことでもけんかになる場面が、どのクラスでも多く見られました。運動会や遠足、学習をはじめとするクラスでの活動の中で、自分と異なる意見や友達の気持ちを認め、お互いに譲り合う姿勢がぐんと育ちました。学校のきまりや時間を守って生活することで、クラスや学年のみんなが気持ちよく安心して過ごせて、楽しい時間が増えることも分かってきました。現在、生活科で自分の成長を見つめる単元に入っています。自分のよさを認めるとともに、友達のよさを認めて、一緒に過ごす仲間として、これからも学び合ってほしいです。



### MM サンサンスター ～すてきな笑顔～

#### 【大切にしたいこと】

##### ① 気持ちの良い「あいさつ」ができるように

- ・・・笑顔であいさつすることや気持ちのよい関係づくりをしていけるように、気持ちの良いあいさつを続けられるようにしていく。

##### ② 友達と「きょうりよく」する気持ち

- ・・・自分自身の思いを大切にすることと同じように友達の思いを大切にできるようにする。友達のしたいことに協力して取り組めるように学級、学年での活動を大切にする。

##### ③ どんなことでも「じぶんから」取り組む姿勢

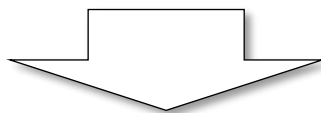
- ・・・活動と振り返りを繰り返すことで、主体的に取り組もうとする気持ちを育む。

##### ④ 相手への「おもいやり」や気遣い

- ・・・日常生活の中の「当たり前」を見直して、自分自身のたくさんの支えの中で生活していることが分かる。それらを実感し、周りの人にも返せるような気持ちをもてるようにする。

##### ⑤ 場面に合わせて「きりかえ」ができる

- ・・・時刻を意識して、生活のリズムを大切にするとともに、時間の有限性についても考えられるようにする。



#### 【一年間を振り返って】

それぞれのクラスで、よりよいクラス作りができるように約束を守ったり、友達と関わり合ったりと自分でできることを意識して過ごすことができました。4年生に向けて、自分たちでできることを考え、課題があっても自分たちで解決できるようになってきました。

理科や社会、総合的な学習の時間など、新しく始まった学習の仕方を理解し、探究しながら学習することができました。特に総合的な学習の時間では、それぞれのクラスで課題を見つけ、課題解決的に学習を進めました。1組は住み続けられる街づくりについて、2組は過ごしやすい学校づくりについて、試行錯誤しながら探究することができました。





## <4年生>

### 学年目標

# 集めよう ガーベラの束

## 【大切にしたいこと】

### ① みんなにとって大切なことを考える

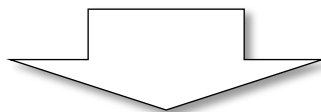
高学年の仲間入りをするにあたって、「自分が」だけでなく、「みんなが」気持ちよく過ごすためには、どんなことが大切かを考える姿勢を目指します。話し合い活動などを通して、個から全体へ視野が広がるようにします。

### ② 自主的に行動する

見通しをもち、自分で考え行動する。決められたルールや約束を守って落ち着いて行動する力があります。今年は、子ども達自身が何をしたいか、何ができるかを考え、自分達の想いを実現しようと行動していけるような姿を目指します。やらされる1年ではなく、自分たちで「つくる」1年になればと思います。

### ③ 考えを聞き合い、助け合う

友達の良い考えは、認めたり取り入れたりして、柔軟な考え方をもち、友達を受け入れられる姿を目指します。また、自分のことは自分でやる。そのなかで、課題が生まれたときは助け合い、一緒に考えたり一緒に行動したりすることで、人の「気持ち」をこれまで以上に大切にできるようにします。



## 【一年間を振り返って】

子どもたちは自分でできることに取り組み、最後までやり切る姿をたくさん見せてくれました。また、声をかけ合って進めたり助け合ったりしながら生活していました。たてわり活動では、低学年も楽しめるレクとなるように内容を考え、運営できました。

また、総合的な学習の時間では、どのクラスも校外での発表に多く参加しました。自分たちが取り組むSDGsを発信したり他の取り組みを知ったりするなかで、多様な価値観にふれ、自分たちの活動を価値付けしてもらい、達成感を味わいました。



## <5年生>

### 学年目標

# スマイルピザ ～歴史を創る5年生～

## 【大切にしたいこと】

(1) 多様性を認め合える雰囲気づくりを目指します。

良い考えは「いいね」。取り入れる。真似はよいこと。  
削るのではなく、「たし算の話し合い」をしていくこと。

(2) 高学年の一員として仕事を担い、学校を創っていこうとする態度の育成を目指します。

間違えは、誰にでもある。完璧な人間はいない。

「失敗は成功の母」人間は、間違えをするから、新しいものを生み出すことができる。

→「当たり前のことを当たり前のように」できる。

→さまざまな仕事。内容を選ぶのではなく、行うことに意義がある。

どの仕事でも、自分が行うことで、みんなが助かる（役に立つ喜びを）。

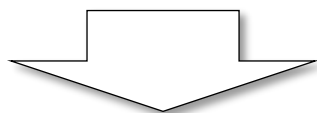
(3) 保護者の皆様と一緒に子どもの成長について考える関係を目指します。

「保護者と教員の結束が学校で一番強い学年」を目指していきたいです。

→日常的に（気軽に）学校へお越しください。

校外学習のSPにご協力ください。

個人面談だけではなく、気になることがあればいつでもお電話ください。



## 【一年間を振り返って】

校外学習や、道志村遠足では、本物に出会ったり自然に触れ合ったりと、たくさんの経験をすることができました。また、たてわり活動や、全校遠足、運動会などを通し、高学年としての自覚が芽生え、低学年に対する接し方がとても上手になったように思えます。今年度は学年で総合を行い、全校を巻き込んで「みなとみらい本町小の校歌」作りに挑戦しました。何度も繰り返し歌詞や曲について話し合い、素敵な校歌が完成しました。



# 真価・進化・心火

## 【大切にしたいこと】

### ①「真価」

小学校生活最後の1年間でこれまでの小学校生活で経験したことの真価を問われる年  
成人まで残り3分の1、個人学習だけでなくリーダーシップなどの社会性についても考える。  
同級生だけでなく、下級生の良い考えを進んで取り入れて、活動をよりよいものにしていく。

### ②「進化」

学年全体が課題に向き合い、様々な活動で保護者、地域、他の学年に進化した姿を見せられるようにする。

友達の違った意見や考えを聞きあえる雰囲気づくり。削るのではなく、「たし算の話し合い」

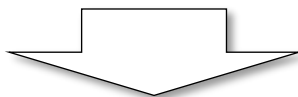
### ③「心火」

学年全体が「心に火」をともし、ひとつひとつの取り組みを大切にしていく。

たてわり活動や行事など、一つひとつの物事には意義がある。

どの仕事でも、自分が行うことで、みんなが助かる（役に立つ喜びを）。

下級生に対してひろい心で接し、学校の手本としての自覚と行動ができる。



## 【一年間を振り返って】

### ◎本校の最上級生として、学校のみんなを引っ張ってくれました

一人ひとりがリーダーシップを発揮して、児童会活動や学校行事に一生懸命に取り組む学年でした。特に、たてわり活動では、下級生のサポートを積極的に行ったり、みんなが楽しめるように遊びを工夫したりと大変立派でした。

### ◎自分たちで課題を見付け、考え行動できました

今年度の総合は、自分の課題意識に応じて、11のグループに分かれて取り組みました。スライドを作ったり、体験スペースを用意したりと、人々の行動変容を目指して、一生懸命に取り組みました。





最上位目標

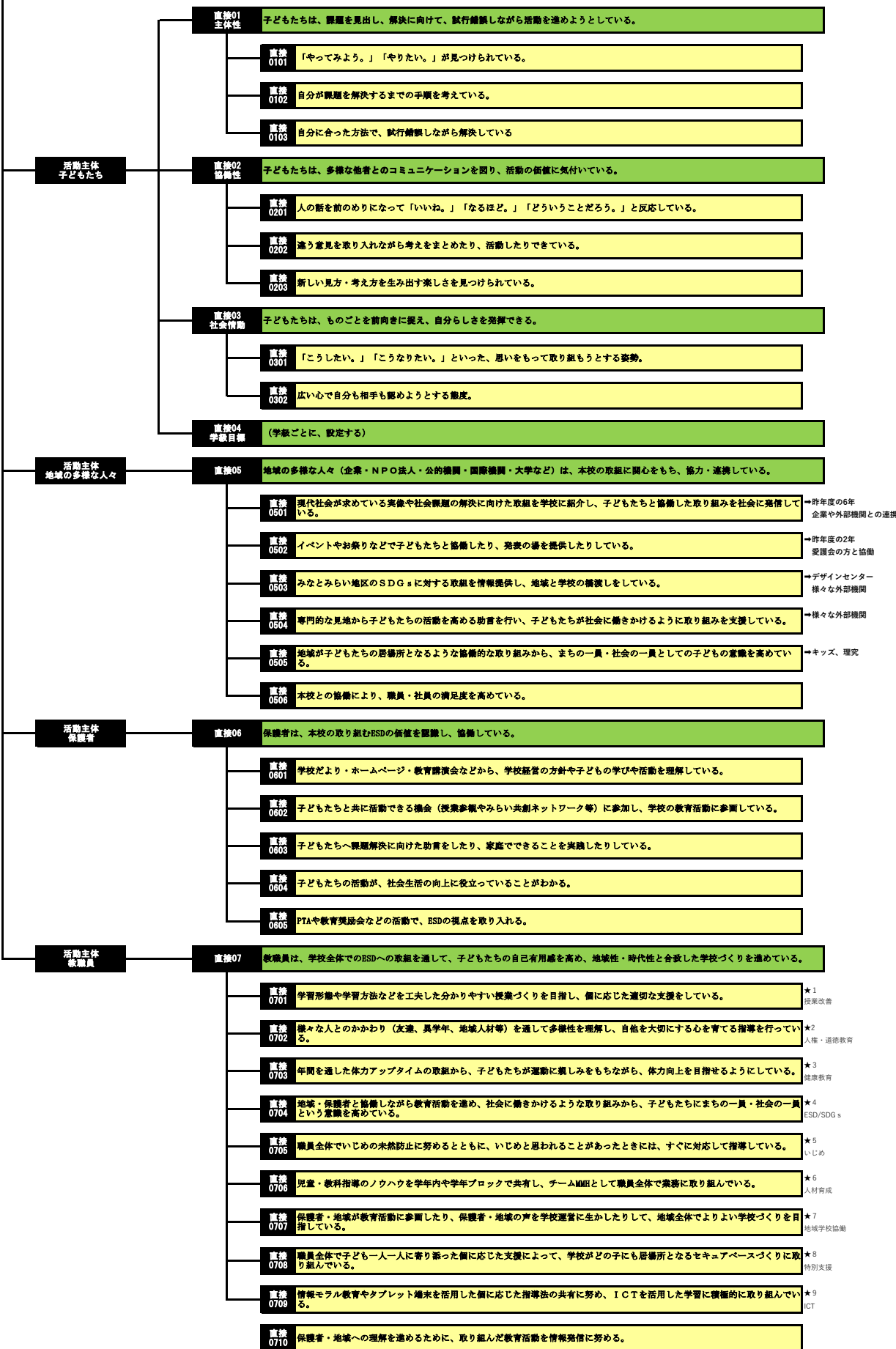
**スーパーゴール** 学校教育目標【「みな」と「みらい」を創る子】  
 「多様性を認められる」「多面的・多角的に物事を捉える」「問いを見い出して学び続ける」「まちに愛着をもつ」「豊かな心をもつ」の5つの資質を育成する。

上位目標

**最終アウトカム** 社会（まち・ひと）とつながり、**多様な文化や価値観を取り入れながら広い視野で物事を捉え**、現代社会における**課題の解決に向けて行動できる**、持続可能な社会形成を担う**グローバルな人材**が育成されている。

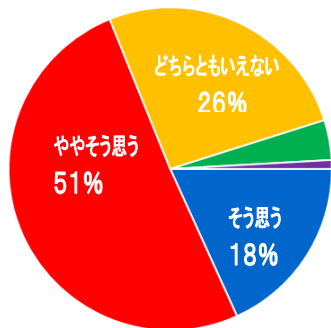
中位目標

**中間アウトカム** 「みなとみらい」の豊かな資源を活かした教育活動から、社会（まち・ひと）の課題解決に向けて、**さまざまな視点や立場に立ち、多様な他者の考えを共有しながら**、**地域・保護者・企業をはたらきかけ、社会に変化を起こせる子**\*1が育っている。 \*1 社会に変化=変容

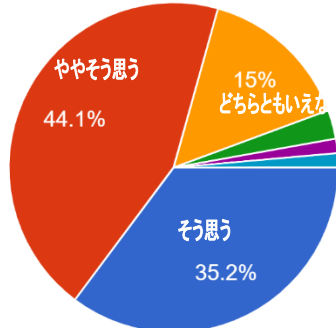


(1) 子どもたちは、学校の学習で「やってみよう。」「やってみたい。」が見つけられている。

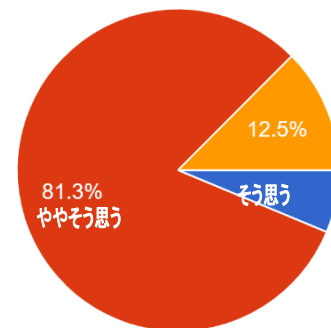
《子ども（後期）》



《保護者（後期）》



《職員》



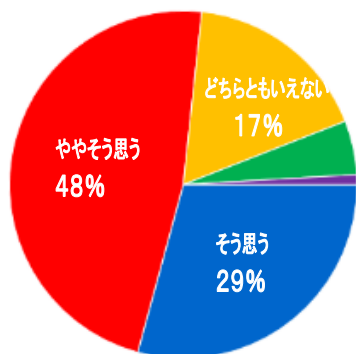
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

保護者とも、「そう思う」「ややそう思う」で80%を超える回答がありました。参観の様子から、自分から「やってみよう」「やりたい」という気持ちをもって学習に取り組んでいるとの評価が多かったといえます。子どもたちは、「どちらともいえない」という回答が増え、職員は、まだ改善の余地を感じています。

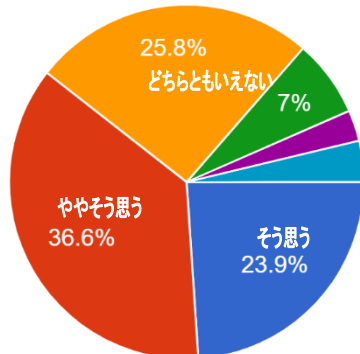
⇒外部機関との連携や ESD を推進することで、子どもの探究的で主体的な学びに取り組んでいきます。  
課題解決型の学習の中で、自分のテーマ選択や進め方に悩んでいる子への手立てを増やしていきます。

(2) 子どもたちは、自分で学習の課題を解決するまでの、計画を考えながら学んでいる。

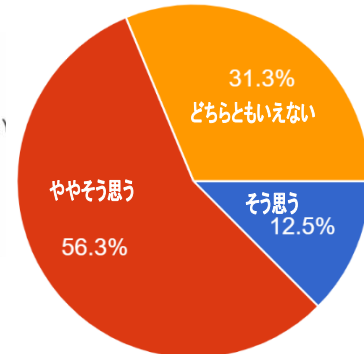
《子ども（後期）》



《保護者（後期）》



《職員》



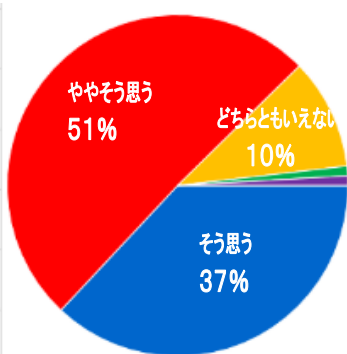
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

子ども・保護者とも「どちらともいえない」との回答が多く、評価は高くありませんでした。解決までの計画を考えながら学習を進められていると感じられていないと思われます。児童の個々の学び方の違いもあり、集団としての実現を職員は実感できていません。

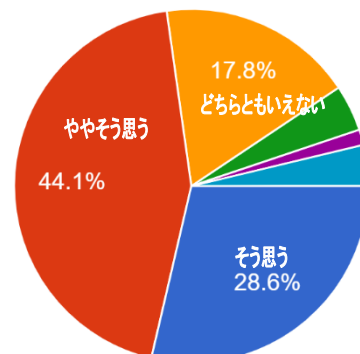
⇒計画を立てることで、子どもが見通しをもった主体的な活動となります。あわせて、振り返りを行うことで自分の成長を実感できる機会となります。このような学びを継続してすすめることで、見通しをもった学びを実現していきます。

(3) 子どもたちは、学校の学習で自分ができる方法を見つけたり、試したりしている。

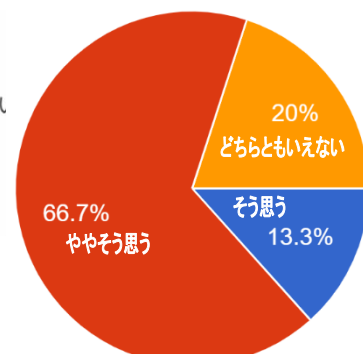
《子ども（後期）》



《保護者（後期）》



《職員》



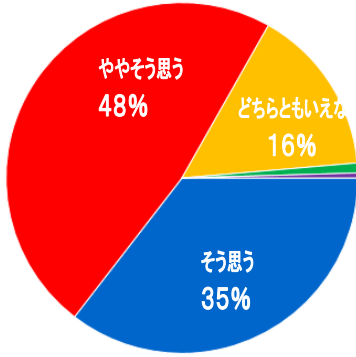
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

おおよそ、「そう思う」「ややそう思う」で70%を超える回答がありました。課題解決型の学習を進めていることが伝わっていると思われます。保護者から「どちらとも言えない」という回答が多いことは、児童によって差があることが関係していると思われます。

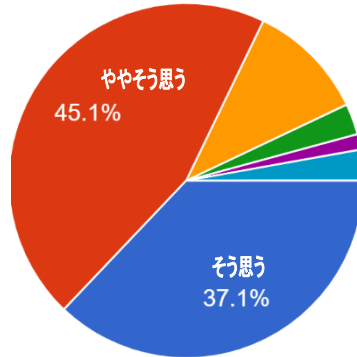
⇒タブレット端末を用いた学習を有効的に取り入れたり、教科横断的な学習や弾力あるカリキュラムマネジメントを進めたりすることによって、課題解決型の学習をさらに取り組むことで、改善していきます。

(4) 子どもたちは、友達や先生の話や聞くときに、「いいね。」「うーん。」「なるほど。」「どういくことだろう。」など興味をもって聞いている。

《子ども（後期）》

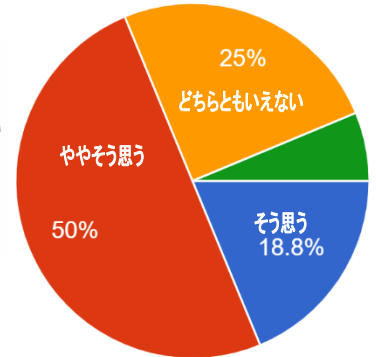


《保護者（後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》

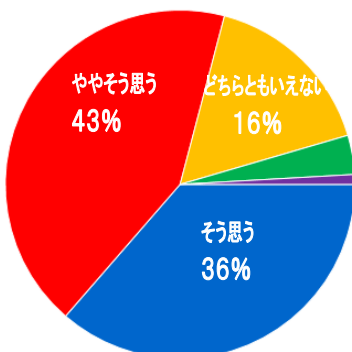


子ども・保護者とも「友達の意見を聞いている」との高評価でした。しかし、職員からは、厳しい評価です。聞くことで学ぶことや認め合うことができるので、今後も大切にしていきたい点です。

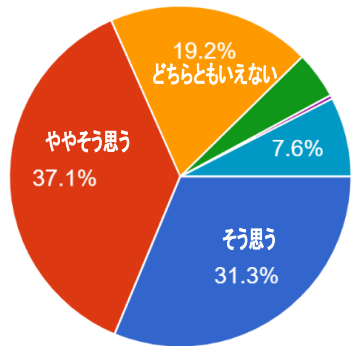
⇒「友達の意見を聞き、自身の考えの変容」を実感することまでは、至っていないと思われます。集団で学ぶ良さを実感できるような活動を継続したり、学び合う良さを価値づけたりする手立てを講じていきます。

(5) 子どもたちは、自分とは違う意見を取り入れて活動を考えたり、考えをまとめたりしている。

《子ども（後期）》

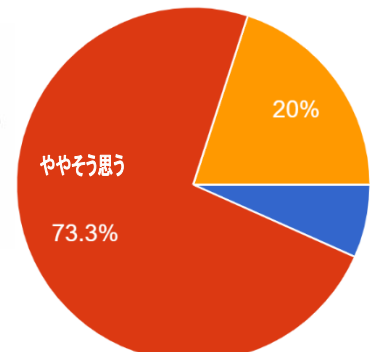


《保護者（後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》

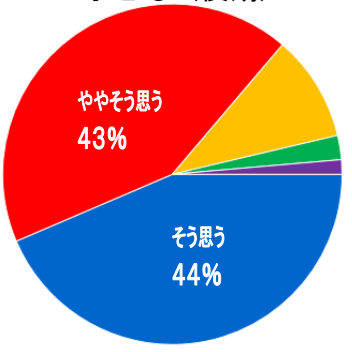


子ども・保護者とも「どちらともいえない」の割合が多かったです。保護者から「分からない」という回答が多いことから、様々な人(友達・異学年・地域)との関わりを通して、違う意見を取り入れながら活動がよりよくなる経験がどの場面をさせているのかを実感できていないと思われます。職員からは、語る会などを通じたESD/SDGsへの取組から高評価となりました。

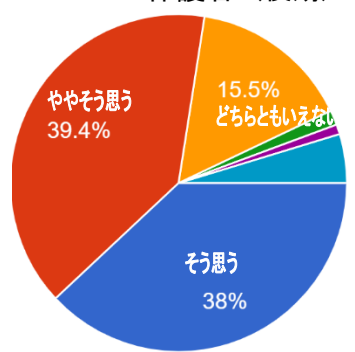
⇒ESD/SDGsの活動や地域イベントでの発表から、自他のよさや違いを認め合えるような活動を充実させ、子どもたちが多様性を享受できるようにしていくことで、多様性を受け入れるよさに気付かせていきます。

(6) 子どもたちは、友達と先生と、新しい見方や考え方を見つけることを楽しいと感じている。

《子ども（後期）》

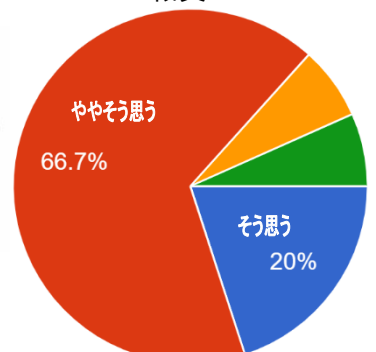


《保護者（後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》



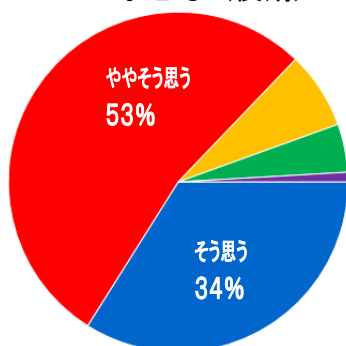
おおむね高評価でした。やはり探究的な学びが教室で展開していることによって、この点は実感できていると思われます。職員からは、すべての児童がそのよさを実感できるまでは感じられていないのではないかと反省もあり、さらなる充実や発信が必要と感じます。

⇒子どもたちが教科学習やSDGsへの取り組みを通して、「なぜ?」「どうして?」を友達と意見交換しながら解決に向かって追究していく「探究的な学び」を推進していきます。

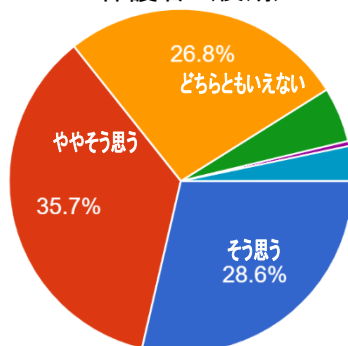


(7) 子どもたちは、自分が「こうしたい」「こうなりたい」という思いをもって取り組んでいる。

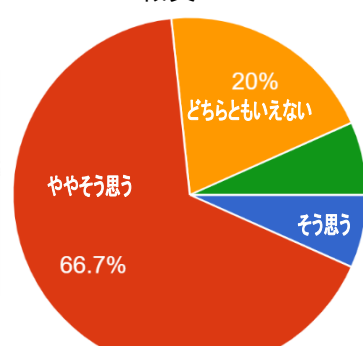
《子ども（後期）》



《保護者（後期）》



《職員》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

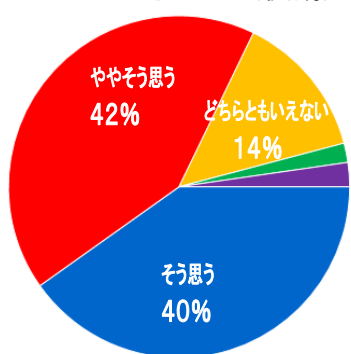
子どもたちは高評価でしたが、保護者は実感できていないようです。「自分ができた」とことや「こんなことをやってみたい」と子どもたちが振り返り、表現したことを保護者に伝わっていないと思われます。

⇒単元や授業の中での姿と、将来の姿とで混同されているかもしれないので、質問の表現について再検討していきます。

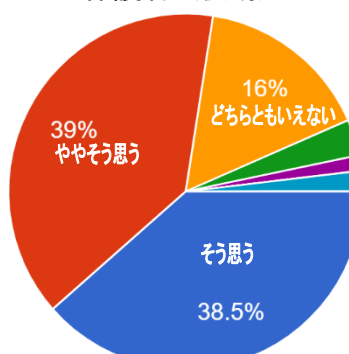
⇒子どもたちが教科学習やSDGsへの取り組みを通して、自分のなりたて姿や理想を追求できるような学習を展開していきます。5周年として行ったホームカミングデーやキャリア教育企画などを通して、身近な人から学ぶ機会を継続していきます。

(8) 子どもたちは、ひろい心で自分も相手もみつめられましたかと思いませんか。

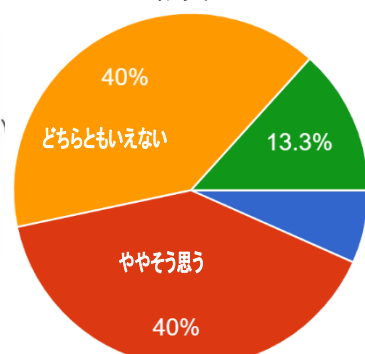
《子ども（後期）》



《保護者（後期）》



《職員》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

子ども・保護者とも高評価でした。子どもたちも多様性を認め合える心情は大切にしたいと願っているようすが伝わってきます。職員からは、集団生活の中で、時にぶつかり合いながらも、相手の立場や考えを受け入れることで視野を広げられるような経験や、学び合いや認め合いから自己有用感を、これからも育てていきたいとの意見が出されました。

⇒互いの人権や生命を尊重していく心情を、日常の学校生活でも生かしていけるように、今後も様々な教育活動で育てていきます。

【備考】今年度も、ロジックモデルに基づいたアンケートを実施した。

子どもアンケート 前期9月実施 / 後期2月実施

保護者アンケート 前期10月実施 約66%

後期1月実施 約53%

※年2回のアンケート以外に、参観後にもそれぞれ実施。

職員アンケート 1月実施 回答率 約84%

※保護者回答率：前期10月実施 約66% / 後期1月実施 約53%

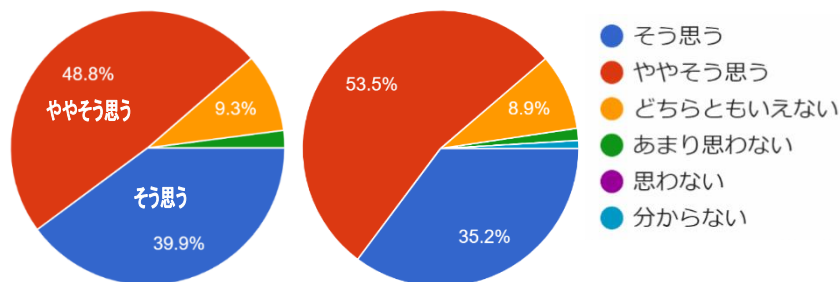
※職員 回答率：1月実施・約84%

(9) ご家庭は、学校だより・ホームページ・学校説明会などから、学校経営の方針や子どもの学びや活動を理解できている。

(10) ご家庭は、子どもたちと共に活動できる機会（授業参観やみらい共創ネットワーク等）に参加し、学校の教育活動に参画できている。

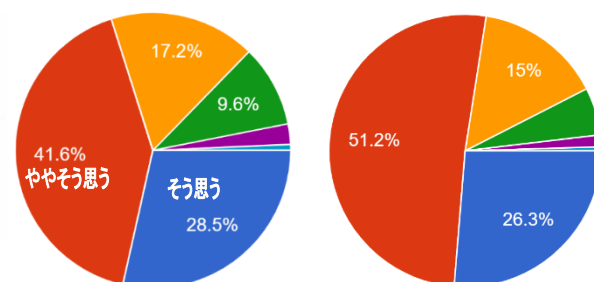
《保護者（前期）》

《保護者（後期）》



《保護者（前期）》

《保護者（後期）》

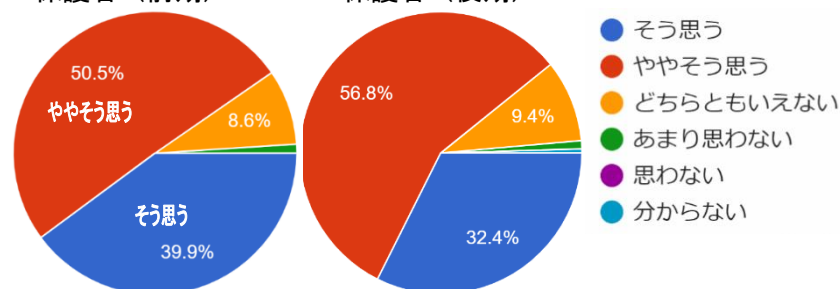


(11) ご家庭は、子どもたちへ課題解決に向けた助言したり、家庭でできることを実践したりしている。

(12) ご家庭は、子どもたちの活動が、社会生活の向上に役立っていることがわかっている。

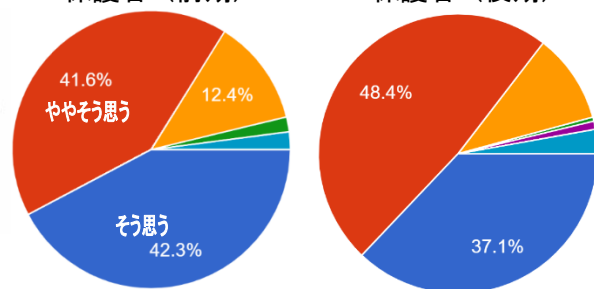
《保護者（前期）》

《保護者（後期）》



《保護者（前期）》

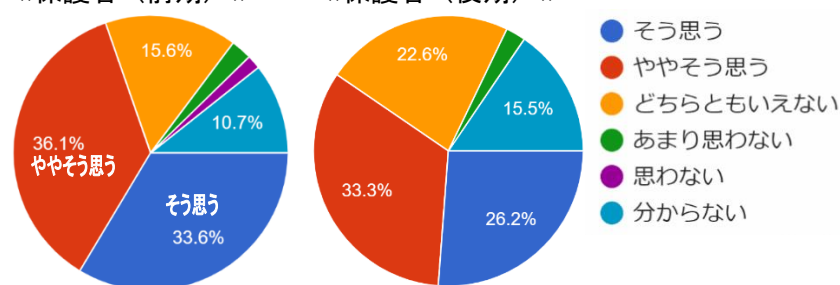
《保護者（後期）》



(13) (PTA や奨励会の役員さんのみ) PTA や教育奨励会などの活動で、ESD の視点を取り入れている。

《保護者（前期）》

《保護者（後期）》



【保護者の皆さまへ】

いつも学校教育活動へのご協力ありがとうございます。

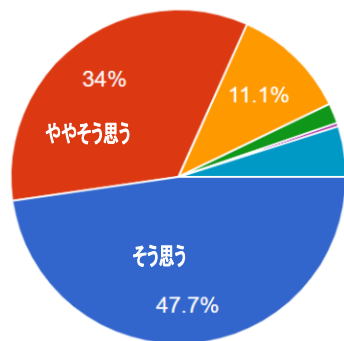
今年度は前期に運動会、授業参観(2回)、学校説明会、教育講演会(2回)を実施しました。多くの方から、学校経営の方針や子どもたちの学びや活動の理解につなげることができたと考えます。また、家庭からのご助言や実践により、子どもたちの活動も充実してきました。

後期に入り、みなとみらいを語る会と授業参観(2回)、教育講演会(1回)を実施し、さらに3月までに授業参観・懇談会・学校報告会が実施できそうです。また、学年・学級の ESD/SDGs の取り組みや遠足といった活動が多く設けることができ、子どもたちと共に活動する機会が多くありました。そのような結果が、設問(10)・(11)にもあらわれていると考えております。

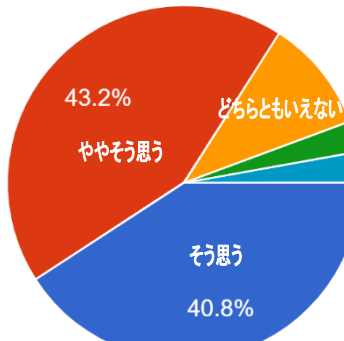
今後ともよろしく願いいたします。

(14) 学校は、学習形態や学習方法などを工夫した分かりやすい授業づくりを目指し、個に応じた適切な支援をしている。

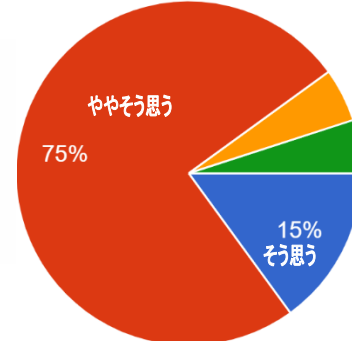
《保護者（昨年度後期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》

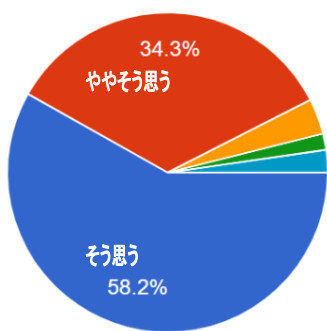


- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

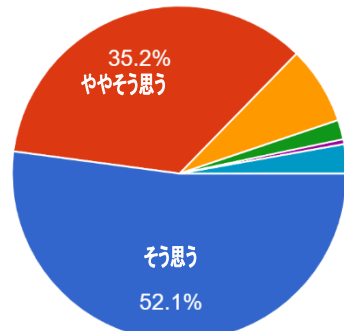
授業参観(4月6月11月1月)・個人面談(7月12月)などを通して、学校(学級)の取り組みを知ってもらえていることがわかります。職員は、児童の課題に寄り添った支援に取り組んでいるが伝えきれていないようにも感じました  
⇒「個に応じた支援」や「主体的な学び」などの中身を、さらに保護者に発信して伝えていくことが必要だと考えます。

(15) 学校は、様々な人とのかかわり(友達、異学年、地域人材等)を通して多様性を理解し、自他を大切にする心を育てる指導を行っている。

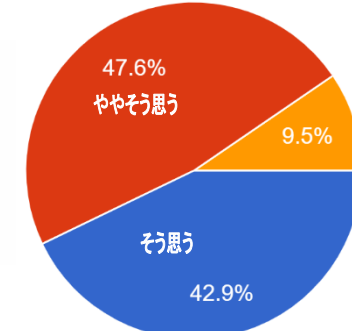
《保護者（昨年度後期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》

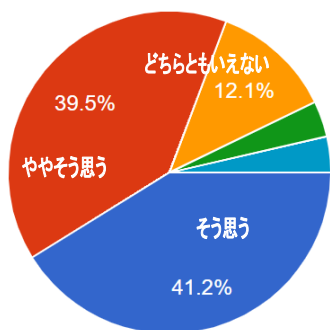


- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

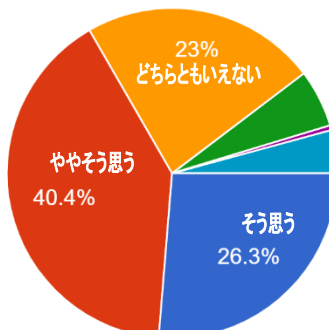
昨年度に引き続き、高評価をいただいています。学校が力を入れて取り組んできた、まちや企業との連携した活動が展開できてきており、その取り組みが、家庭に伝わっていると思われます。異学年活動(たてわり活動)では、毎月の活動以外に全校遠足を2年ぶりに実施することができ、異学年で活動するよさや楽しさを児童が実感できたと思われます。  
⇒継続的に取り組んでいき、児童が多様性の理解し、自他を大切にする心を育てていけるようにします。

(16) 学校は、年間を通した体力アップの取組から、子どもたちが運動に親しみをもちながら、体力向上をめざせるようにしている。

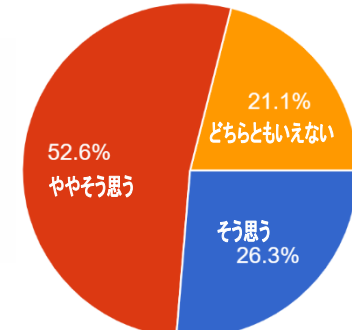
《保護者（昨年度後期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》



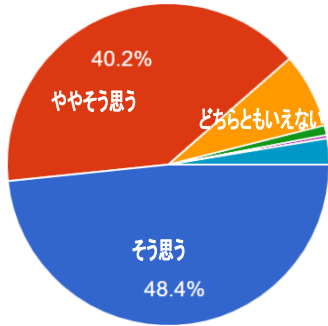
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

昨年度と比べ、結果が悪くなった。取り組みがきちんと伝わっていないと思われます。今年度は、朝の時間を使った週1回の体力アップ活動に、投げる動き(玉入れ)など楽しみながら取り組めるように工夫してきました。職員からは昨年度よりは取り組みは進んでいるが、運動の中身についてさらなる工夫していくべきとの反省が出されています。  
⇒体力テストの結果として、本校はどの項目もほぼ市平均値の結果でした。子ども一人一人が自分の体力テストの結果などから、体力を高める運動を選んだり取り組んだりして、体力向上を実感できるような取り組みを継続的に取り組んでいきます。

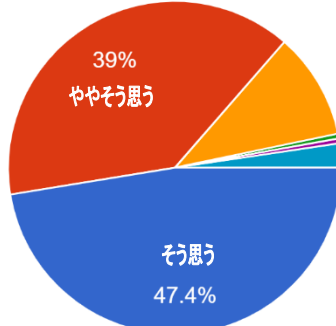


(17) 学校は、地域・保護者と協働しながら教育活動を進め、社会に働きかけるような取り組みから、子どもたちにまちの一人・社会の一人という意識を高めている。

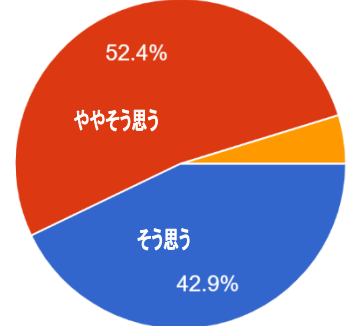
《保護者（昨年度後期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》



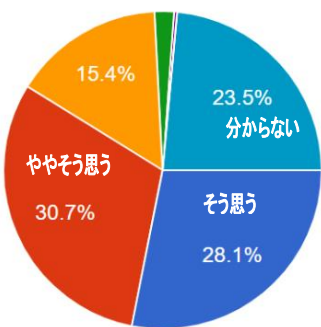
- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

昨年度に引き続き、高い評価となった。ESD/SDGsだけでなく、教科学習においても、地域・保護者の協力を得ながら、教育活動に取り組んでいることが伝わっていると思われます。地域への発信にも力を入れたことで、助言や価値付けをしてもらい、子どもたちも達成感を感じている様子です。職員からは、まちや社会の一人という意識に関して、低学年の保護者を中心に、きちんと共有できていないのではとの反省がありました。

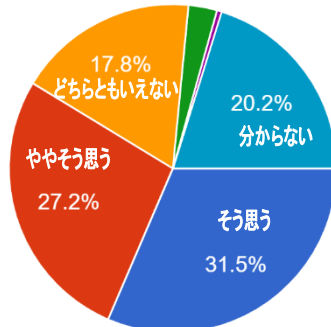
⇒地域での活動やイベントでの発信など、地域・保護者と協働する取り組みを積極的に推進していきます。

(18) 学校は、職員全体でいじめの未然防止に努めるとともに、いじめと思われることがあったときには、すぐに対応して指導している。

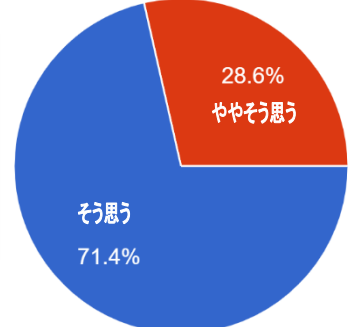
《保護者（昨年度後期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

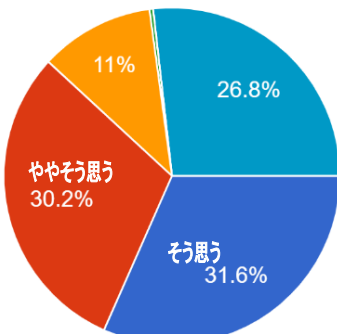
担任は児童支援専任と連携し、保護者とともに個別の事例に対応していることは、ご理解いただいていると思われます。小さな事案のうちに、担任と児童支援専任が連携して、複数の職員で対応してきました。一方、特に事案と接していない家庭に対して、どのように対応し、どのように未然防止に努めているかは、伝えきれていないと思われます。

⇒学校だよりで専任からの報告を継続するとともに、毎週の会議などで全職員が連携して未然防止に努めていることを発信していきます。

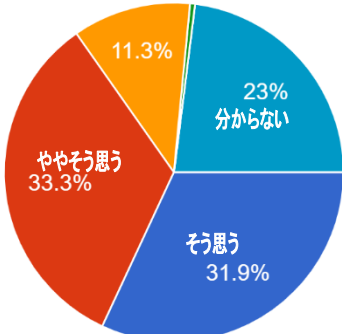
(19) 【今年度新規追加】

学校は、児童・教科指導のノウハウを学年内や学年ブロックで共有し、チーム MMH として職員全体で業務に取り組んでいる。

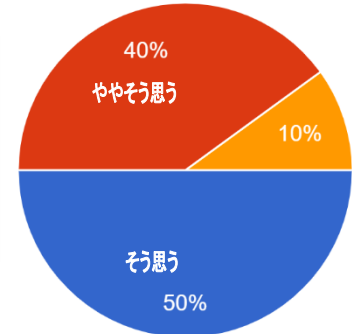
《保護者（今年度前期）》



《保護者（今年度後期）》



《職員》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

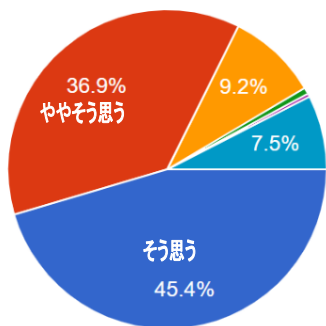
一部教科担任制を取り入れたり、児童のトラブルには複数の職員で対応したりと、学級担任一人で抱えるのではなく、学年・専科担任・児童支援専任・級外職員など複数の職員が連携して対応するようになりました。保護者の方にも、チームで対応していることは伝わっていると思われます。職員からは、風通しの良い職場の雰囲気であるとの意見が出されています。

⇒チーム MMH として、複数の職員が窓口となる良さを、さらに発信していきます。

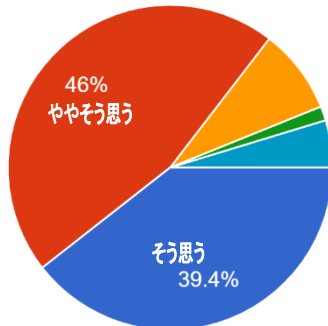
⇒保護者の方へ回答を求める質問項目として残すかは、再検討します。

(20) 学校は、保護者・地域が教育活動に参画したり、保護者・地域の声を学校運営に活かしたりして、地域全体でよりよい学校づくりを目指している。

《保護者（昨年度後期）》

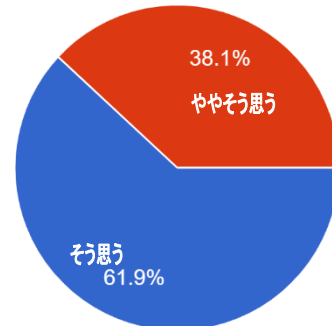


《保護者（今年度後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》



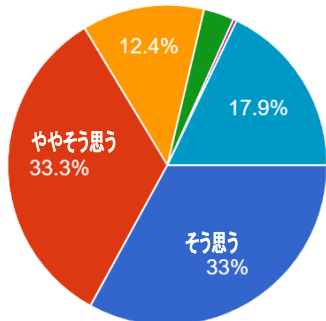
昨年度に引き続き、高評価をいただいている。みらい共創ネットワーク！を仲立ちとする保護者 SP や授業参観等で共に活動する機会をつくることができました。参観後や前期・後期の保護者アンケート、学校運営協議会などでいただいたご意見を学校運営に生かしていることを、さまざまな形で発信するようになってきました。

⇒ともに教育活動を推進できるよう、みらい共創ネットワーク！との連携を深めていきます。いただいたご意見は分析し、学校運営に反映していることをより実感できるよう、「分からない」と回答している方にも、具体的な事例を学校だよりなどで発信していきます。

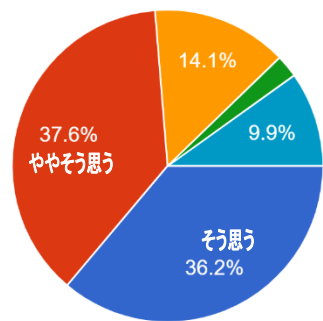
(21) 【今年度新規追加】

学校は、職員全体で子ども一人一人に寄り添った個に応じた支援によって、学校がどの子にも居場所となるセキュアベース作りに取り組んでいる。

《保護者（今年度前期）》

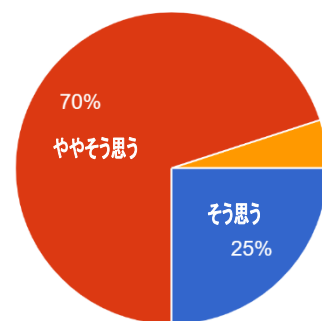


《保護者（今年度後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》



「分からない」という回答は減少したが、依然として多い結果でした。児童はさまざまな課題を抱えています。その課題解決に向けて担任一人ではなく、学年担任・児童支援専任・養護教諭・特別支援教育コーディネーターなどが中心となり、職員全体で子どもたちを支え、どの子にも学校が居場所となるような支援に取り組んでいます。個別の事案を発信することはできないため、保護者が実感できる機会が少ないと思われます。

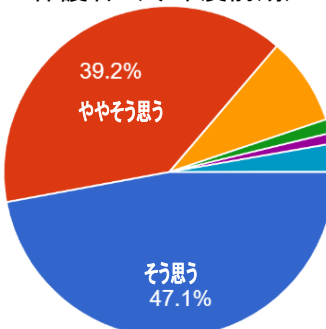
⇒個人面談などで個に応じた支援を伝えるとともに、職員全体が暖かい雰囲気子どもたちを支えていることを感じてもらえるようにします。

⇒保護者の方へ回答を求める質問項目として残すかは、再検討します。

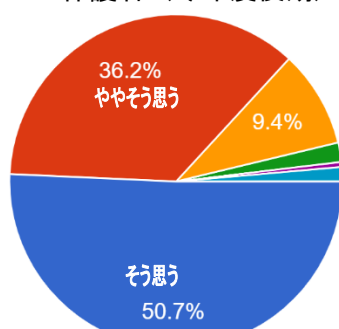
(22) 【今年度新規追加】

学校は、情報モラル教育やタブレット端末を活用した個に応じた指導法の共有に努め、ICT を活用した学習に積極的に取り組んでいる。

《保護者（今年度前期）》

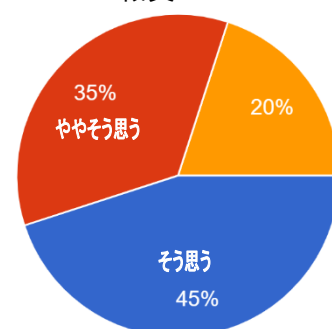


《保護者（今年度後期）》



- そう思う
- ややそう思う
- どちらともいえない
- あまり思わない
- 思わない
- 分からない

《職員》



昨年度と引き続き、高い評価をいただきました。どの学級でもタブレット端末を用いた効果的な授業デザインを目指し、取り組んできたことを評価いただけたと思われます。

⇒校内での研修などを通して、端末利用法だけでなく、情報モラルを両輪に、学校全体で系統的に取り組んでいきます。